



平成 26 年 7 月 31 日

各 位

会 社 名 株式会社ラックランド  
代表者名 代表取締役社長 望月 圭一郎  
(コード番号 9612 東証 2 部)  
問合せ先 常務執行役員管理本部長 天明 恒男  
(TEL:03-3377-9331 (代表))

## 第 2 四半期連結累計期間業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

平成 26 年 2 月 14 日に公表しました平成 26 年 12 月期第 2 四半期連結累計期間業績予想(平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 6 月 30 日)と本日公表の同期間の実績値に下記のとおり差異が生じましたので、お知らせいたします。

なお、平成 26 年 12 月期通期連結業績予想につきましては、本日公表の平成 26 年 12 月期第 2 四半期決算短信に記載のとおり従来の予想からの修正はありません。

### 記

#### 1. 平成 26 年 12 月期第 2 四半期連結累計期間業績予想と実績値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	10,524	75	80	42	5 73
実績値 (B)	11,580	65	86	39	5 42
増減額 (B-A)	1,055	△10	5	△2	— —
増減率 (%)	10.0	△13.5	7.1	△5.4	— —
(ご参考) 前期第 2 四半期実績	8,495	186	195	120	16 43

#### 2. 差異の理由

連結売上高につきましては、これまで蓄積した設計力・技術力を駆使したエンジニアリングセールスを強化し推進した結果、物流倉庫の大型受注を獲得し、また既存顧客からの受注シェア拡大や計画を上回る新規顧客開拓により、前回発表予想を大幅に上回りました。第 3 四半期以降も、受注は堅調に推移する見込であります。

連結営業利益、連結経常利益および連結四半期純利益につきましては、数年前より建設業界の職人不足を予見し人材補強を継続してまいりましたが、想定外に職人不足の深刻化が加速し早急に対応する必要が生じたため、当第 2 四半期に多額の人材採用費用を投じ職人を確保いたしました。このため、連結営業利益、連結四半期純利益は前回発表予想を下回る結果となりましたが、人材採用活動はほぼ一巡し利益確保の基盤が整ったため、当第 3 四半期以降の各利益率は上昇すると見込んでおります。

### 3. 通期業績について

通期の連結業績予想につきましては、現時点では前回発表の予想から修正しておりませんが、今後の業績の進捗を引き続き注視し、修正が必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

(注) 上記の予想は、本資料の発表現在において入手可能な資料を基に作成したものであり、実際の業績は、様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。

以 上